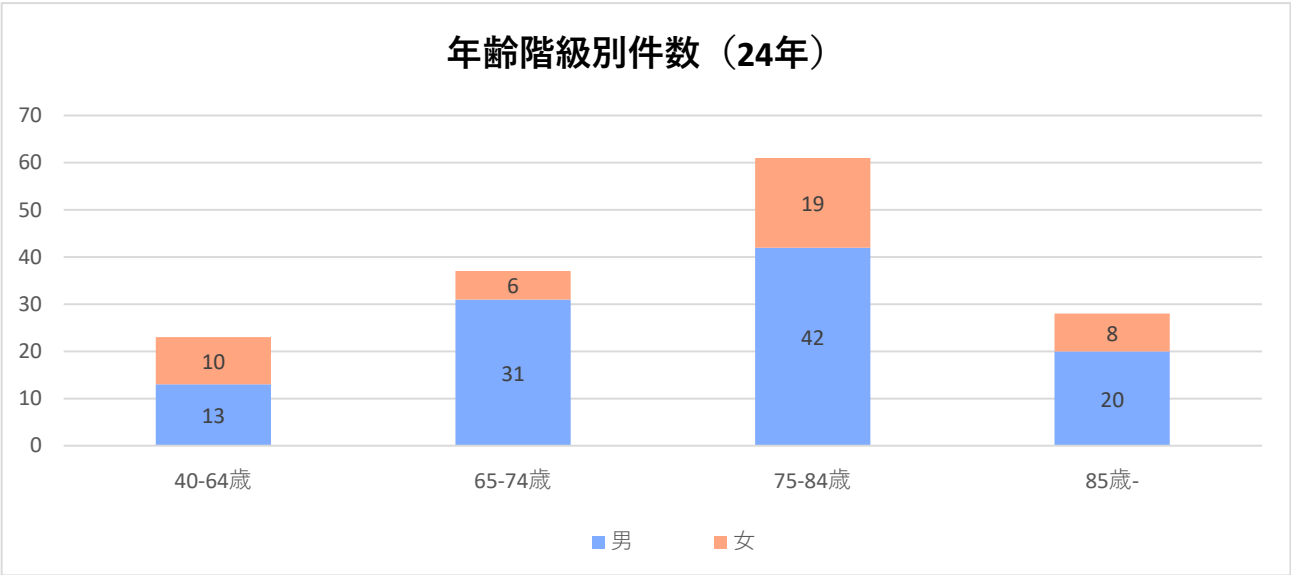
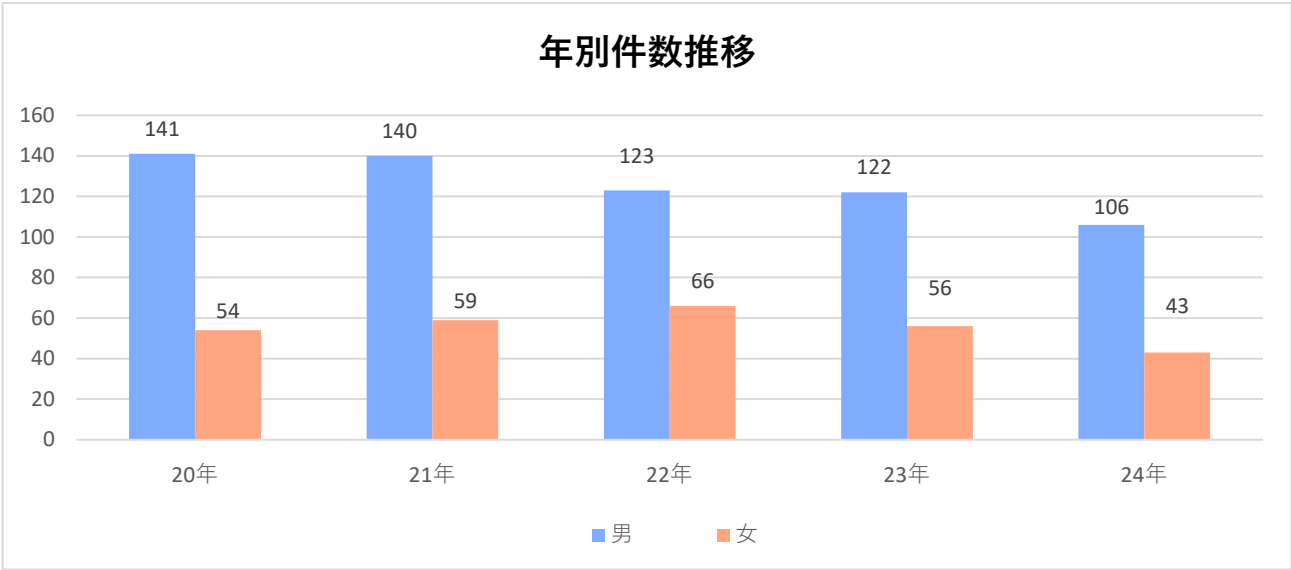


Ⅱ. 2024年集計＜部位別＞

2. 胃

胃に発生したがんを対象に、年別件数推移は直近5年間、年齢階級別件数は24年単年、主な紹介元先は直近5年間でグラフおよび表を作成した。
年別件数推移は男性が年々減少し、女性は22年に増加したが、23年以降は減少している。
年齢階級別件数は75-84歳が最も多かった。



主な紹介元

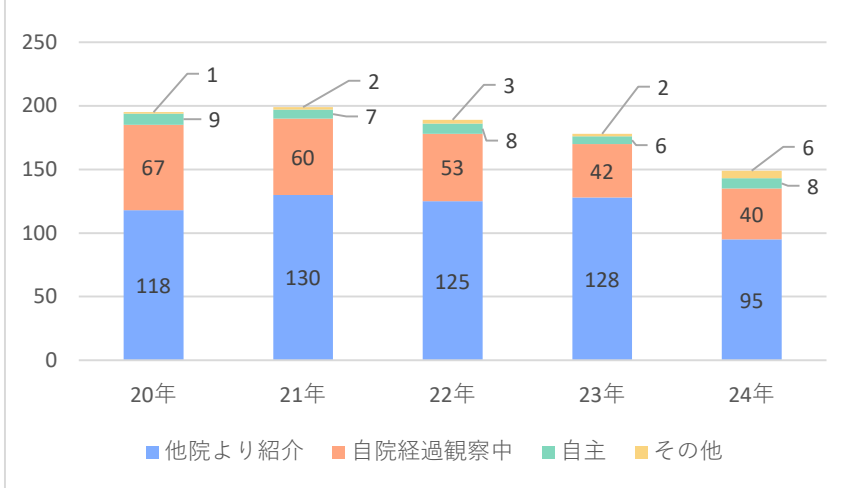
施設名	20年	21年	22年	23年	24年
溪仁会 円山クリニック	3	2	1	3	5
石狩病院	13	11	11	9	5
おちあい内科・ 消化器内科医院	2	2	2	0	4
手稲いなづみ病院	1	8	4	9	4
くにちか内科 クリニック	1	3	2	2	3

主な紹介先

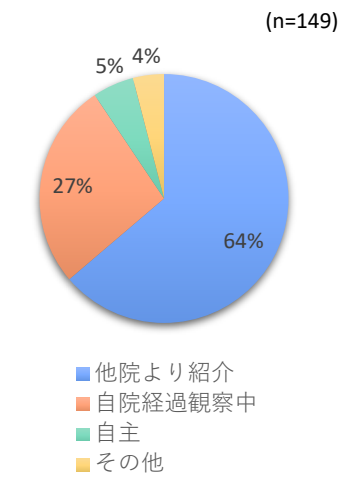
施設名	20年	21年	22年	23年	24年
西成病院	1	0	1	1	3
手稲いなづみ病院	0	1	0	0	3
市立稚内病院	0	0	0	0	3
手稲家庭医療 クリニック	5	11	9	4	2
札幌ライラック病院	0	0	0	0	1

来院経路・発見経緯・症例区分について、直近5年の件数と24年単年の割合でグラフを作成した。
来院経路は「他院より紹介」、発見経緯は「他疾患経過観察中」、症例区分は「自院診断・自院治療開始」が最も多かった。

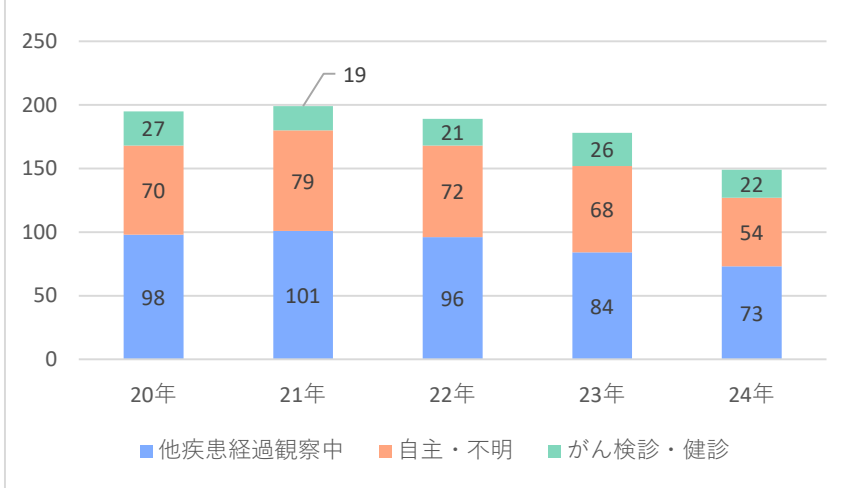
来院経路別件数



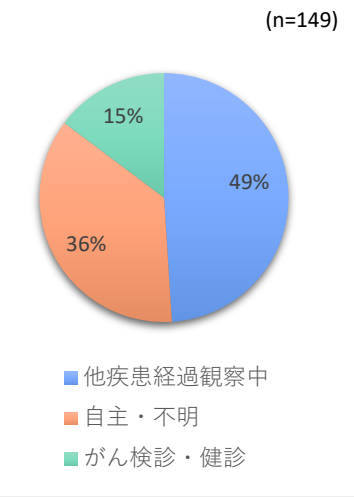
来院経路別割合（24年）



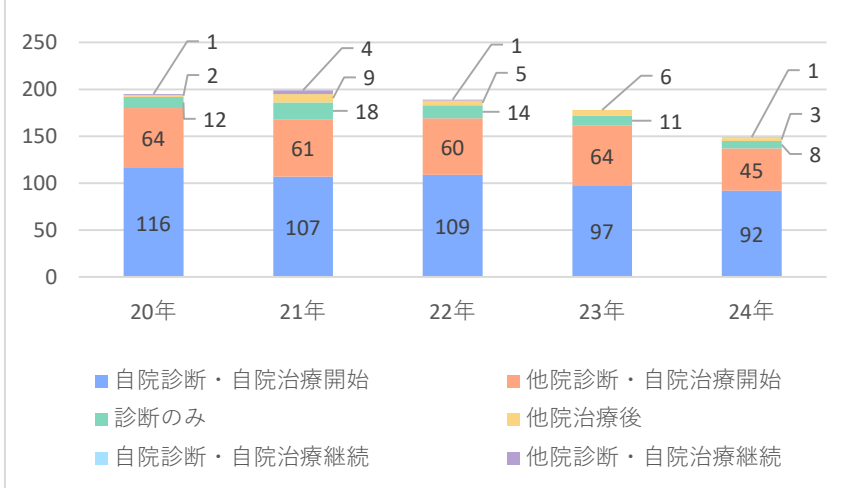
発見経緯別件数



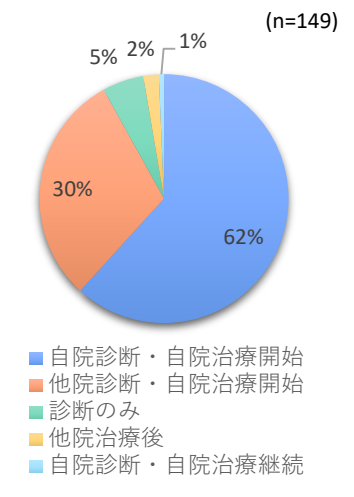
発見経緯別割合（24年）



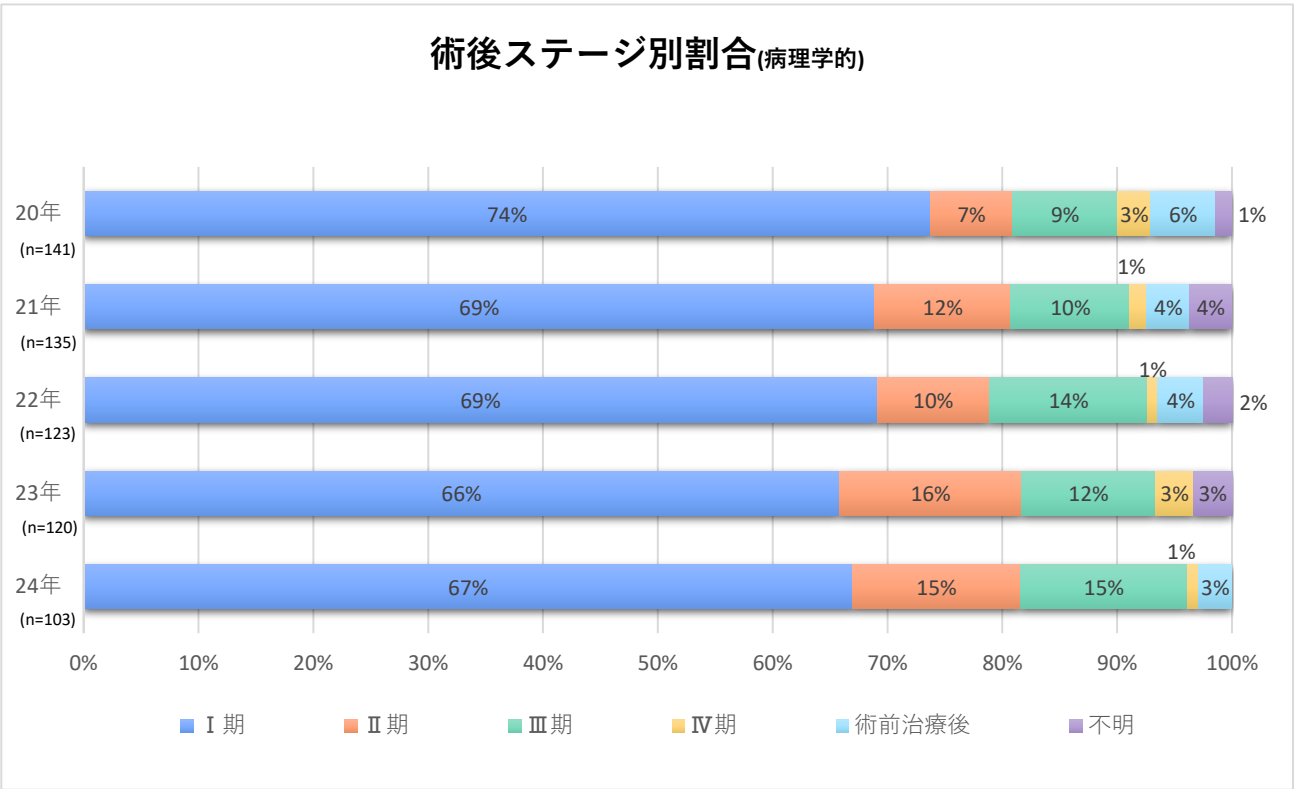
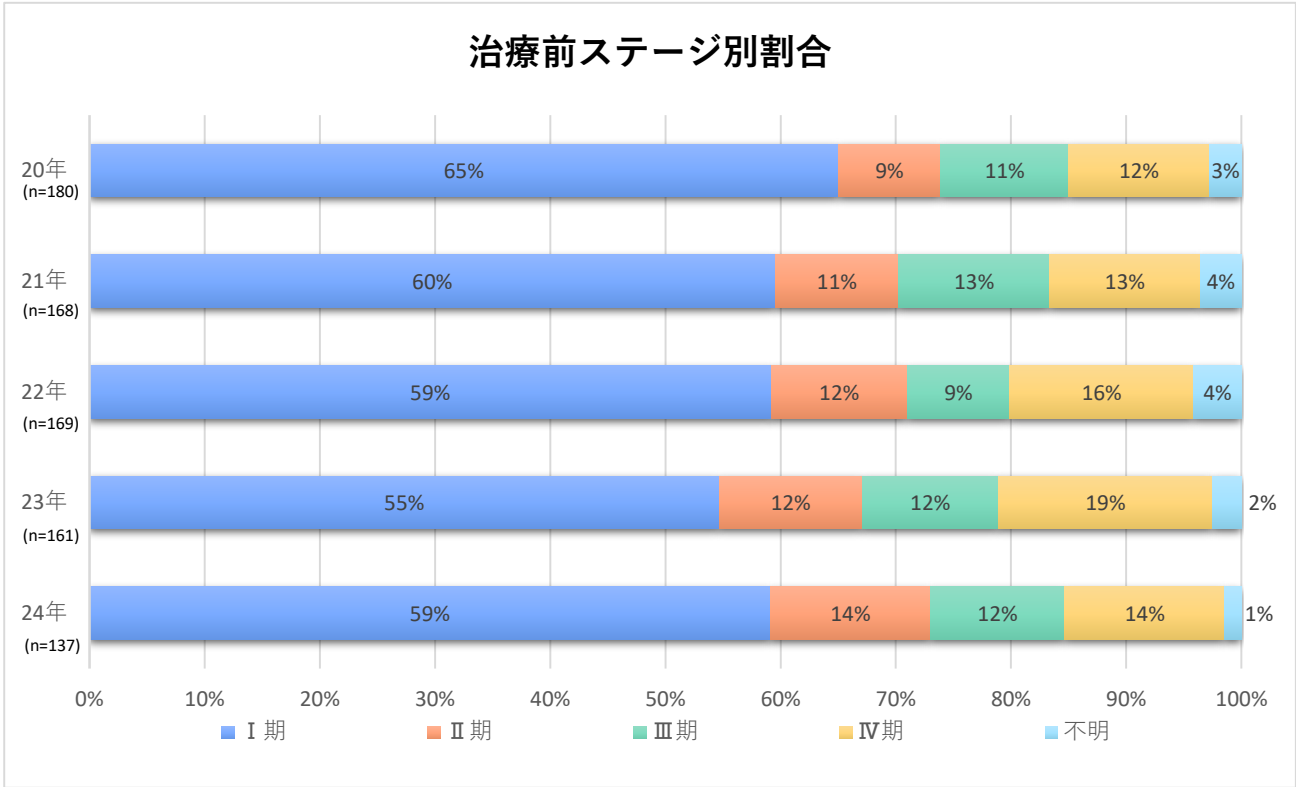
症例区分別件数



症例区分別割合（24年）



治療前・術後ステージ別割合について、直近5年間のデータでグラフを作成した。
治療前ステージ・術後ステージ共に全ての年で「Ⅰ期」が最も多かった。
また治療前ステージでは「Ⅱ期」、術後ステージでは「Ⅲ期」が24年に増加していた。
※「術前治療後」には、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術した症例が含まれる。



総合ステージ別に初回治療で実施した治療内容の割合について、24年単年で作成した。
Ⅰ期では「内視鏡のみ」が最も多かった。Ⅱ期とⅢ期では「手術のみ」と「手術/内視鏡+薬物」が多く、Ⅳ期では「薬物療法のみ」が40%を占めたが、「治療なし」が45%で最も多かった。
※「治療なし」には、無症状や高齢である等の患者状態により、経過観察を選択する症例が該当する。

